

## 「標準薬物治療」委員会にご参加下さい

SOAP マスターファイル作成組織委員会

### 趣旨

SOAP マスターファイル作成組織委員会を組織し、**67** 病院の SOAP マスター ファイルの作成を行い、その成果を「**2** ページで理解する標準薬物治療ファイル」(南山堂) の出版によって形にすることが出来ました。

出版に向け、若い薬剤師を中心とした **105** 名の執筆者のグループを形成させることができました。

今後、治療ガイドラインは医療の進展に伴って改訂が行われると考えられます。それに伴って、「**2** ページで理解する標準薬物治療ファイル」も逐次、改訂していくことが求められます。そのため、執筆者 **105** 名を核にした組織を維持、発展させ、ガイドラインの改定に対応した「ファイル」の改訂を行っていくこととしました。

また、「**2** ページで理解する標準薬物治療ファイル」の出版の目的は、「わが国の薬物治療が、経験的、主観的に陥りがちな治療から、科学的、客観的なエビデンスを下敷きにした治療へと進むこと」を目指したものでした。そのため、同時に、我が国の薬物治療に、科学的、標準的な薬物治療を浸透させるための活動（「**2** ページで理解する標準薬物治療ファイル」の普及活動）を進めたいと考えます。

### 以上、二つの目的

- 1) 「**2** ページで理解する標準薬物治療ファイル」の改訂作業
  - 2) 科学的、標準的な薬物治療を浸透させるための活動
- を行う組織として、新たに「「標準薬物治療」委員会」に改組することに致しました。
- 「**2** ページで理解する標準薬物治療ファイル」の作成に参加していただいた方々、更に、上記の目的に賛同していただける方々のご参加をお願いします。

具体的には、

- 1) **67** 病院などを対象に担当していただくワーキンググループに加わっていたとき、その分野のガイドラインに関連した動きや研究発表をフォローする。
- 2) 適宜、「**2** ページで理解する標準薬物治療ファイル」を題材に、標準的薬物

治療を紹介するとともに、日本、外国ガイドラインの基礎となっている研究の客観的評価を行うことや、エビデンスに基づく薬物治療の現状と進め方について経験を交流するための研究会を開催する

個人、グループで、上記活動にご賛同され、取り組んでいただける方は、疾患名と共に、メールで、学会事務局にお申し出下さい。